

原子力プラント全号機停止について

2012年5月5日
電気事業連合会
会長 八木 誠

本日、北海道電力泊発電所3号機が定期検査を開始し、全国50基の原子力プラントが全て停止した。

わが国のエネルギー自給率が4%と極めて低い実情を踏まえれば、電力の安定供給にあたっては、安全を前提に、3つのE（エネルギー安定供給、経済性、環境保全）の観点から、海外から輸入する化石燃料に過度に依存しないエネルギーミックスが大切であり、再生可能エネルギーや省エネルギーとともに、原子力発電はこれからも大変重要な電源であると考えている。

私どもとしては、原子力のさらなる安全性確保に全力で取り組むとともに、電力の安定供給という使命を達成するためにも、立地地域をはじめ広く社会の皆さまからの信頼回復に努め、できる限り早く原子力を再稼働できるよう最大限の努力を続けてまいり所存である。

以上